

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

教育相談・生活相談のご案内

【児童・生徒の教育相談】	【青少年の生活相談】
＊ 相談日・時間 土・日曜日及び祝日を除く毎日 AM9:00～PM5:00 ＊ 場 所 市総合教育センター内（埴生中学校敷地） 教育相談センター 電話相談・面接相談 273-5105（直通）	＊ 相談日・時間 月・水・金曜日 AM9:00～PM4:00 （要・予約） ＊ 場 所 千曲市役所 4階 少年育成センター（生涯学習課内） 電話 273-1111（内線 4113） ＊ E-mail：youth@city.chikuma.lg.jp



※いずれも秘密は守られます
第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— うれしいな 家族そろった 読書の時間 —

中止になった 子ども花火大会

社会教育委員 山崎友幸

令和四年度もコロナ禍で、私の住んでいる上山田の三本木地域での行事は、新年度開始以来、残念ながらほとんど中止になっていました。

子どもは地域の宝、やがては三本木の担い手となる、そのためにも感染防止対策をして子どもたちに地域の思い出づくりができないかと、自治会、支分館、育成会の三団体で合同会議を開催しました。屋外でできるものがよいのでは、という意見から八月十五日に「花火+ゲーム大会」を開催することに決定しました。

各分担任を決めて会議を重ねましたが、約三年ぶりの地域全体での行事であることが、まず大変。たくさんの子どもの集まる中でのコロナ対策も、初めてのことでだらけでした。何をすればいいのか、それすらわかりませんでした。まず、受付用にと、支分館で非接触型の検温器を新規購入していただきました。それから、受付ゲーム+花火大会を通じて、人が一か所に集まらないようにする人員整理係や、アルコール消毒係を設けました。また、机・いすの配置を工夫するなど、たくさんの方の意見やアイデアを出し合う中で、何とか大会の開催が見えてきました。

そんな中、恐れていた事態が発生しました。コロナ第七波の大流行です。七月三十一日に会議を開き、本当に、本当に残念でしたが、花火大会の中止を決定しました。用意した花火と記念品は子どもたちに配布しました。各家庭で楽しい花火大会ができたと思います。役員の皆様、本当にありがとうございました。最後の反省会では、コロナ感染対策をして、今回のメンバーでまた、子どもたちが参加できる新しい行事を計画しようということになりました。

新しい行事の開催を心から期待しています。



補導ってどんなこと？こわいもの？ 2ページ、3ページでは、「補導」の現状と今後の方向についてお伝えします。ご覧ください。



上半期の「補導」を振り返って

深夜徘徊が多い～上半期少年補導～

9月の定例補導委員会で、千曲警察署生活安全課より今年の上半期の少年補導についての報告がありました。

4月から8月まで29人補導があり、一番多いのは深夜徘徊でした。時間は午後11時台が多く、補導の場所としては、お寺や神社、コンビニ駐車場、公園が主で、歴史館の駐車場、更埴中央公園、ふれあい公園などでも事例がありました。

さて、そもそも補導とは、どんなことでしょうか。補導とは、少年の非行を防止するために、警察や補導員が行う活動です。警察が行う場合は、犯罪や非行が起こりやすい場所を見回り、問題を発見した際に行います。警察はその場で保護者に連絡をとり、適切に指導してもらうようお願いをします。



補導委員の補導活動

千曲市少年補導委員の行う補導は、「街頭補導活動」で、不良行為をしそうな子を早く見つけ、ひと声かけ、注意や助言を行い、正しい方向に向けていくという活動です。強制力はありません。



かつて、非行や不良といった心配な子を街で見かけることが多い時代がありました。しかし、最近ではそのような姿はほとんどありません。実際、補導委員が行っている声かけは「こんにちは。」「おかえり。」といった挨拶や、「気をつけてね。」などの注意がほとんどです。また、見て回るのは交通や防犯や環境などの安全面が多く、「補導」というより、見守り、応援、交流という感じです。

少年補導委員➡親しみやすく、温かさを感じる愛称へ

「補導」という言葉は、警察を連想したり、ものものしく、怖いものであるという印象を受けたりしがちです。しかし、補導委員は、温かな目で青少年を育てる地域の一員です。そこで、育成センターでは「千曲市補導委員」に親しみやすく、温かな印象の愛称をつけようと考えています。今のところ、

見守り隊 サポーターズ チルドレンパトロール 地域サポーター バックアップ隊

などの候補があがっており、さらに、千曲市らしい言葉入れたいと思っています。愛称についてアイデアのある方は、少年補導センター（教育委員会生涯学習課）へお知らせください。

8月～11月の活動から

<巡回補導>

各中学校区を中心に月2回ずつ程度実施しています。小中学校の平日休業日に合わせた巡回補導も行いました。補導日誌を中心に紹介します。

9月20日(火) 屋代駅➡屋代駅前交番➡科野の里ふれあい公園➡中村池公園➡あんずの里スケッチパーク➡倉科区内➡生萱区内➡親水公園➡屋代中

屋代駅前交番では特に問題はないが、電話での特殊詐欺被害が毎日のように発生しているため、家族で注意してくださいとのことです。科野の里ふれあい公園の噴水は、市職員により、シートがかぶせられ、終了作業が終わったところでした。中村池公園ではちょうど帰宅途中の3名の児童とあいさつを交わしました。休憩を兼ねて兄弟を待っているとのことです。屋代中学校では部活は3年生が引退して、1・2年生が頑張っている練習をしており、ランニング中の生徒とあいさつを交わしました。



きれいに整備されている ふれあい公園は多くの方が訪れます

10月3日(月)カラオケ店➡レンタルショップ➡桑原体育館➡伊勢宮公園➡市役所ギャラリー

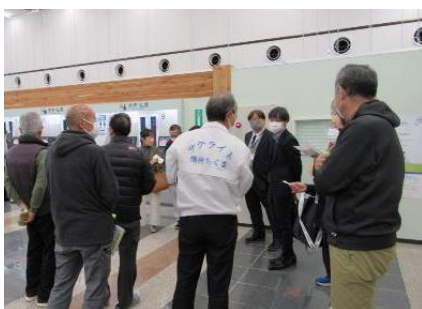


この日の伊勢宮公園は、小中学生が元気に遊び、活気がありました

中学生が振替休日ということで、中学生が行きそうな場所を中心に巡回しました。カラオケ店Aでは、今日は中学生の来店はないとのこと。普段は親と一緒に受付を済ませ、部屋には子どもたちだけで入り、カラオケを楽しむということはあるそうです。カラオケ店Bには、中学生の自転車が何台もありました。お店の人に確認しましたが、親と一緒に来店して部屋にいるとのことでした。

伊勢宮公園では、野球をする小学生を久しぶりに見ました。勉強をした後遊ぶ女の子、ゲームをする男の子、中学生もいました。午前中は市役所ギャラリーで勉強をして、午後から体を動かしていたとのことでした。公園を出ていく際の自転車の乗り方は、右側通行など、少々気になりました。

<競輪場外車券発売場「サテライト信州ちくま」の視察>



11月7日に、オープンして1年あまりの「サテライト信州ちくま」の視察を行いました。営業日数や時間、入場人数などのほか、防犯対策や地域貢献についての説明を受けました。車券の購入は、20歳以上となっており、これまで、特に問題になるような案件はないとのことでした。また、周辺地域の子どもたちの安全のため、小学校の登校日には、社員が青色パトロールを行っているそうです。

編集室の窓



千曲駅の待合室入口に植生小学校の児童が届けたプランターが置かれています。サルビアが美しく咲き、利用者の方々の癒しになっています。この花は、地域の方がボランティアで毎朝世話をされ、このように立派に咲いているそうです。駅のほかにも、小学校、公民館でもきれいな花を咲かせてくださっており、地域の方の目が行き届く、安全な街づくりの一助になっています。



～わたしのゆめ～



子どもたちは、どんなふうに自分のゆめをイメージするのでしょうか。

身近な体験や大人の姿から、テレビやネットで見た働く人の姿から、手に取った書物から……。そのゆめは、変わっていくかもしれませんが、こんなゆめを持っていたということは、大人になっても覚えていることでしょうか。

「おいしい野菜を作る農家の人になりたい」 更級小学校 3年 山本 菜宙

ぼくの夢は、農家の人になることです。ぼくは野菜が大すきで、お店で食べたサラダがとてもあまくて、おいしかったから、ぼくもおいしい野菜が作れる人になりたいです。一生けん命作った野菜は、きっとおいしいから心をこめて作りたいです。作った野菜はトラックにのせて、スーパーに運んでいき、たくさんの人に買ってもらいたいです。そして、ぼくが作った野菜を食べてもらって、「おいしい。」と言ってもらえたらうれしいです。野菜のきれいな人も、ぼくが作った野菜を食べて、好きになってくれたらうれしいです。おいしい野菜を作って、たくさんの人たちを笑顔で幸せにしたいです。そんな農家の人にはぼくは、なりたいです。

「十年後のわたしへ」 東小学校 4年 近藤 美怜

今、世の中がコロナウイルスの感染で、何人もの人が亡くなったり、私の好きなお出かけもあまり行くことができななかったり、マスクは給食の時間以外は外すことができななかったりと大変な日々を過ごしています。そんな中でも私は、夢があります。それはトリマーになることです。ペットの毛をきれいにし、ペットのことを思いやることのできるトリマーになりたいです。

世の中はどうなっていますか。コロナのための良い薬は出来ましたか。私は、自分の夢をかなえられるよう努力していますか。どんな職業になったとしても、人の苦しみや痛みの分かる心をもっていられる私でいたいです。

「ぼくの夢」 屋代小学校 5年 中村 鷹

ぼくの夢は寿司屋で働くことです。ぼくは寿司が大好きだからです。それに家族も寿司が大好きなので、ぼくはおいしい寿司を握って家族に喜んでもらいたいです。また、ぼくは料理が好きで、寿司を握るのも好きです。寿司を握るのは難しいけど、上手になっておいしいお寿司を作りたいです。ぼくのおじいちゃんも料理人です。この前刺身の切り方を習いました。まだ、一匹もさばけないので、大きい魚もいつかさばきたいです。さばけたら、かっこいいと思います。休みの日には、ユーチューブで魚をさばく動画を見て勉強しています。もっとすごくなって日本のどこかに店を建てたいです。

「私の夢」 埴生中学校 2年 西澤 来倅

私の夢は、明確にはありません。

私の今のところの夢は、将来「職」につき、生活費をかせぐことです。

では、将来の夢を見つけるにはどうしたら良いのでしょうか。色々見つけ方がありますが、私に向いているのは、「好きなことから発展させていくこと」だと思います。高校生ぐらいになってから見つかっても、その時に勉強し始めるのでは遅いと思います。その時に備えて、私は今から、将来「夢」を見つけた自分のために、勉強をしっかりしたいと思います。

